

ご報告する内容

- ①2016 リスクセンス^(注)フォーラムへの参加のお願い
- ②リスクセンス向上活動を企業で導入してもらうために

2017年2月2日

DF NPOリスクセンス研究会を支援する会

注:リスクセンスとは:組織を健全に運営しリスクを最小にしていために必要な知識・判断力・業務遂行能力の総称。対象とするリスクはオペレーションとコンプライアンスの2つとする

フォーラムのプログラム

1 日時 2017年3月11日(土) 13:30~16:45

2. 会場

東京大学 弥生講堂 アネックス セイホクギャラリー (定員:60名)

13:00 開場

<第1部> 2016年度Good Risk Sense Awardの顕彰と記念講演

- ・本年度の審査結果の報告を鷺 康雄 氏と
第3者学識者 梅里 泰正 氏(一社 ディレクトフォース)から
- ・リスクセンス研究会賞と化学工業日報社賞の2件 顕彰と
受賞会社による受賞講演と質疑応答
医療・福祉グループ、中小企業の団体を顕彰予定

<第2部> 研究会の研究活動の報告と意見交換会

- ①リスクセンス検定 他 研究会の活動(ものづくり、IT、医療の各分野)の報告
- ②オフィス分野がリスクセンス検定他 開始の案内

<第3部> (仮題)安全工学グループによるリスクへのセンス向上活動

安全体験・体感型研究施設の顕彰

田村 昌三 氏(東大 名誉教授、安全工学グループ)の講演

顕彰企業の受賞講演

- ・フォーラム参加者とのディスカッション

17:00～19:00 意見交換会

(会場 フォーラム会場の近くで会費制で実施)

『これからの産業安全を考える』

日時 **2016年9月9日(金) 10:30~16:30**
(開場10:00~)

会場 **川崎市産業振興会館 1階「ホール」** (収容人数:470名)
(川崎市幸区堀川町9番-20)

主催 **株式会社化学工業日報社** 後援 **安全工学会 / 災害予防センター / 国研・産業技術総合センター
職業安全工学研究所 / 職業力向上センター / ILOサービス研究会**

参加無料
事前登録制

産業振興財団の発起にも参加いただき、化学工業の事故は公益として発生し続け
ています。いったん事故が起これば事業が停滞し被害は予て計り難い。被害や製品
の汚染・廃棄など重要な社会問題にも関与してきます。その解決と産業のさら
びや化学プロセスの高度化、技術伝承、教育の充実など多岐にわたっています。

本フォーラムでは、第1部で100年時の「安全第一」「安全第一」の原点から現在のわ
れわれが何を学ぶべきかについて議論します。また、第2部においては、今年9月に開催した「安全
工学グループ」の活動を紹介するとともに、化学産業が抱える深刻な産業安全に関するノウハウを
社会に発信するために我が国ならではの視点から多岐にわたって議論します。



安全工学会
副会長
上野浩二

清水 尚彦氏



ILOSサービス研究会
理事

小田 剛 善明氏



ILOSサービス研究会
理事

中田 邦臣氏



安全工学
会副会長

田村 昌三氏



安全工学グループ
代表

伊藤 康氏



安全工学会
会長

創井 亮氏



株式会社化学工業日報社
代表取締役

小川 剛彦氏



職業力向上センター
センター長

若倉 正英氏



産業技術総合センター
副センター長

井田 敏之氏

プログラム 10:30~16:30

第一部
10:30~12:00

100年時のSafety First原点から学ぶこと

「安全第一」の原点から学ぶこと 清水 尚彦氏 安全工学会副会長/ILOSサービス研究会 代表

「安全第一」の原点から学ぶこと 小田 剛 善明氏 ILOSサービス研究会 理事

これからのSafety First継承への視点 ~ILOSサービスの視点から~ 中田 邦臣氏 ILOSサービス研究会 理事

12:00~13:00

<昼休憩>

第二部
14:00~16:30

『我が国の産業安全の方向性』

【安全総論】 国研 藤 七平 産業技術総合センター 副センター長

I. 安全工学グループによる総合的産業安全総論

「安全工学グループの全体像」 伊藤 康氏 安全工学グループ代表 清水 尚彦氏 安全工学会副会長

小川 剛彦氏 株式会社化学工業日報社代表取締役 若倉 正英氏 職業力向上センターセンター長 井田 敏之氏 産業技術総合センター副センター長

II. 産業安全を担う人材育成

「職業安全教育プログラムの関係と産業安全教育の推進」 田村 昌三氏 安全工学副会長

14:05~15:25

<休憩>

15:25~16:30

III. パネルディスカッション「これからの産業安全をどう考えるか」(15:25~16:30)

— 司会 — 田村 昌三氏 安全工学副会長

— パネリスト — 伊藤 康氏 安全工学グループ代表

清水 尚彦氏 安全工学副会長

小川 剛彦氏 株式会社化学工業日報社代表取締役

若倉 正英氏 職業力向上センターセンター長

井田 敏之氏 産業技術総合センター副センター長

【注】田村 昌三氏 安全工学副会長

【各団体の安全活動のレビュー】

【討論】

16:30

<閉会>

お申し込みは ▶▶ **化学工業日報** **検索** と検索してください

<http://www.cdsympo.com/sd2016/>

TEL03-3663-7936

化学工業日報社 企画局

QRコード



②リスクセンス向上活動を企業で導入してもらうために

今後の活動方針案

- ①皆さんのこれまでの経験をベースに考えて頂き、リスクセンス方式は各企業のクレーム防止に役に立ちそうか、「感じ」をお伺いする。
- ②有効そうなら、このシステムを社会に広めることで、「クレームを防ぐ」との観点で社会に貢献出来る。
- ③本システムを広めるために、経営レベルへの採用を促進し、紹介、資料作成、講習会、企業への説明会が必要で、DFとして動いていただく。
- ④希望する企業が増えてくれば、結果として、DFの活性化の一助とする。